

令和7年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	鈴木鎮一記念館	所管課 外線番号	文化観光部文化振興課 0263-34-3293						
所在地	松本市旭2丁目11番87号	設置年月	平成8年4月						
施設設置目的	才能教育運動の創始者で、松本市名誉市民である故鈴木鎮一氏の住居の保存を図るとともに、関連資料を展示公開して、広く文化の向上に資することを目的とする。								
施設概要・設備	施設概要：木造瓦葺平屋建 敷地面積790㎡ 延床面積252㎡ 展示内容：ピアノ、勲章、表彰状、賞状、写真、書籍、指導用教材など								
指定管理者名（選定方式）	公益社団法人才能教育研究会（特命）								
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5カ年）								
指定管理者の 主な業務	維持管理及び開施設、清掃、館内案内業務								
利用料金制の導入	なし 委託料方式								
施設の利用状況	利用区分等	利用目標（人）	利用実績（人）	対目標比（％）	対前年比（％）				
	年間利用者	2400	2046	85.3%	80.9%				
	（特記事項）								
事業収支 （単位：円）	指定管理者収支（令和7年度）				市の収支				
	収入 （歳入）	年度計画額		収支実績額		令和7年度決算		令和6年度決算	
		項目	金額（円）	項目	金額（円）	項目	金額（円）	項目	金額（円）
		指定管理料	3,090,000	指定管理料	3,090,000				
			預金利息	1,273					
			雑収入	117,000					
			才能教育研究会負担金	2,552,316					
	計	3,090,000	計	5,760,589	計	0	計	0	
	支出 （歳出）	人件費	4,000,000	賃金	4,434,594	指定管理料	3,090,000	指定管理料	3,205,618
		諸経費	1,529,700	消耗品費	87,462	委託料	36,641	委託料	212,300
			燃料費	85,646	工事請負費	1,430,000	工事請負費	447,700	
			光熱水費	400,614					
			通信運搬費	121,648					
			広告宣伝費	12,100					
			委託料	447,700					
			【内訳】	警備料					
			樹木管理	ピアノ調律					
			印刷費	500					
		旅費交通費	59,440						
		会議費	62,615						
		雑費	48,270						
計	5,529,700	計	5,760,589	計	4,556,641	計	3,865,618		
損益	-2,439,700		0	差引	-4,556,641	差引	-3,865,618		
（特記事項）									

## 2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。  
 評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

評価の基準		
A	(1.0)	高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0.7)	事業計画書（提案書）どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0.5)	事業計画書（提案書）どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分が確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0.0)	不適切な部分が確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
62.9

大項目	中項目	評価項目	配点	評価	評価の根拠	
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	利用者には公平な対応がなされている。	
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	就業規則等が正しく定められており、問題は見られない	
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	緊急時の連絡体制を定め、適切な対応がとれる体制となっている	
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	自主事業等の実施にあたっては保険対応がとられている	
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	指定管理者が定める方針に基づき、対策が講じられている	
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	適切な管理が行われている。	
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	D	前年度と比較すれば損失は縮小しているが、営業利益等で赤字が続いている。	
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	A	指定管理受託法人との連携がとられており、積極的な保守・改善が図られている	
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	運営方針に則り、仕様書に示された業務を適切に行っている	
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	密に連絡がとれており、責任を持って取り組んでいる	
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	適切な体制が取られており、懸念点はない	
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	現場責任者を中心に、指揮系統や責任権限は明確に示されている	
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	国の指針に則って、適切に取り組んでいる	
	職員研修・人材育成	14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	利用案内等の説明資料が用意されており、適切に業務指導が行われている	
		経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	会計書類は適切に作成されている。
			16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	施設管理については適切な範囲で専門知識のある第三者に委託されている
安全管理	17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	実績報告は適切に作成されており、期限内に提出されている		
	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	緊急時の対応は明確に設定されており、教育や訓練が実施されている		
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	B	日常の巡回や清掃等が適切に行われており、近隣住宅にも気を配った対応がなされている	
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	B	施設の設置目的を十分把握したうえで、積極的な活用を検討した運営がなされている	
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	適切に実行されている	
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	各団体と連携した施設見学研修を実施するなど、積極的な取り組みを実施している。	
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	A	来館者増加のための検討や取り組みを行うなど、積極的な姿勢が見られる	
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	A	利用者からの声を反映し、展示内容や事業の改善など、サービス向上に積極的な取り組みがみられる	
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	来館者に応じ、適切な対応を行っている	
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	C	来館者からのアンケート回収率が低いため、増加に向けた積極的な取り組みが必要である	
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	セルフモニタリングに関する書類（実績報告書、事業報告書、アンケート調査）は、適切に提出されている	
	環境への配慮	28 施設運営における環境負荷の低減に向けた具体的な目標を定め、認定取得等、その達成に向けた取り組みが講じられているか	2	B	節電等やごみの分別について職員間で周知し、環境への配慮に気を配っている	
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費削減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	来館者がいない場合は、照明を切り、経費削減に取り組んでいる	
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画どおり収入が確保できたか（又は、利用者を確保できたか）	4	B	自主事業を除く管理経費の支出は、指定管理料の範囲内で実施されている	

### 3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	通年
	調査対象	鈴木鎮一記念館来館者
	調査方法	任意でアンケート用紙に記入(28件)
調査結果	【別紙】3利用者による評価 参照	
利用者からの意見 要望・苦情等	【別紙】3利用者による評価 参照	

### 4 指定管理者による自己評価

令和7年度の 自己評価	片岡ファミリーコンサートと開館30周年記念新春コンサートの2つの記念館コンサートを開催しました。2回とも満席のお客様にご来館いただきましたが、新春コンサートはオンラインによる同時配信も行い、より多くの方にご覧いただきました。 また、音楽愛好家を募り開催した「みんなのコンサート」も歴史ある鈴木邸での演奏を喜んでいただきました。
要望・苦情への 対応状況	展示については、期間を定めた「鈴木鎮一直筆展」を行い、普段見ることのできない資料の展示を通じて、鈴木先生をより深く理解していただく機会が持てました。 特筆すべき苦情はありませんでしたが、海外からのお客様も多いため、多言語による説明文の展示などの工夫をしていきたいと考えています。
今後の目標	令和8年度は開館30周年にあたるため、記念コンサートやイベントを幾つか計画しています。 また、何回かご来館いただいた方にも楽しんでいただけるよう、企画展のような形で新たな展示を考えたいと思います。

### 5 市(所管課)による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準	
A	(1.0) アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0.7) アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0.5) アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0.2) 改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

<p>【自主事業を実施している場合の評価】</p> <p>継続的な音楽イベントを通じて、施設の設置目的に沿った魅力ある運営がなされている。来館者からは展示や演出に対する好意的な声が寄せられており、幅広い世代への発信が実現している。今後も地域とつながる文化拠点としての更なる発展が期待される。</p> <p>【個別施設ごとのテーマに対する評価 ※設定がある場合】</p> <p>【総合的な評価】 指定管理者は本施設の設置目的を正確に把握し、適切な運営管理を実施しています。職員の鈴木鎮一氏およびスズキ・メソードに対する理解も深く、来館者への丁寧な対応が随所に見受けられました。</p> <p>一方、来館者数は前年の目標・実績双方で減少している点が確認されました。この傾向は、展示内容の更新や広報活動の効果が十分に発揮できていない可能性を示唆しています。</p> <p>今後は、費用を抑えた展示内容の見直し、教育機関との連携強化等や展示資料の定期的な入替を通じて、来館者の関心と満足度を向上させることで、施設の理念への理解が深まるとともに、来館者数の回復・増加を期待します。</p>
---

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
69.9

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

判断結果
適正

【別紙】

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	通年
	調査対象	鈴木鎮一記念館来館者
	調査方法	任意でアンケートに用紙に記入（28件）
調査結果	<p>【性別】 男性36% 女性64%</p> <p>【年代】 10代7% 20代0% 30代4% 40代21% 50代21% 60代21% 70代18% その他7%</p> <p>【職業】 教育関係者18% 音楽関係者14% その他(無職、主婦、学生等)68%</p> <p>【きっかけ】 松本市観光案内14% 知人7% スズキ・メソード関係者39% HP0% その他39%</p> <p>【来館回数】 1回目93% 2回目4% 3回目0% それ以上4%</p> <p>【来館手段】 バス29% タクシー7% 徒歩14% 自転車7% その他(自動車)43%</p> <p>【職員対応】 良い100% 普通0% 記入無し0%</p> <p>【展示内容】 良い75% 普通4% 記入無し21%</p>	
利用者からの意見 要望・苦情等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鈴木先生の親交、偉業を改めて確認することが出来ました。動画までご紹介頂きありがとうございました。</li> <li>・色々な展示物や映像を見せていただき鈴木先生のお心分かる展示になっておりました！とてもいい所だと思いました。</li> <li>・刺激を受けました。ありがとうございます。また来たいです。</li> <li>・とても見ごたえがありました。スズキ・メソッドは耳にしたことがある程度でしたが、その理念、鈴木先生の強い信念が伝わってきてとてもこころを打たれました。ありがとうございました。</li> <li>・先生がお部屋にいらっしゃる様でした。何度も感じました。</li> <li>・鈴木先生の素晴らし過ぎるお人柄にふれることが出来ました。ヴァイオリンを弾きませんが、これから先の生きる糧に出来たら…事あるごとに思い出せたらなあと思います。</li> <li>・教養を深められたと思います（東京から来た高校生）</li> <li>・来館してよかったです。何度も松本を訪れていますが、今回の訪問を機に、また来てみたいと思いました。ありがとうございました。</li> <li>・前回と違い、今回はとても分かりやすく説明して下さい、海外の者もとても喜んでおりました。改善すべきところはみあたりません。予算を作って、もう少し色々な出版物を鈴木鎮一記念館として作成していただければ良いのですが。英語版の出版物等。</li> </ul>	